

ツーリズムEXPOジャパンに中国の12省市から代表団が参加

中国ブースでは中国から約50人が来日し、豊富なブース展開でイベントを盛り上げる。6月に世界遺産に登録された「シルクロード」や「中国大運河」などの注目観光スポットの紹介はもちろん、民族舞踊や太極拳パフォーマンスなども実施。多様性に富み奥の深い、中国の観光と文化を存分に堪能させてくれる。出展する12省市の魅力の概要と観光の主な見所をここで簡単に紹介する。

ブース内容もりだくさん

中国ブースでは、中国国内12の省や市から代表団が来日し、今年世界遺産に登録された中国大運河、シルクロードの中国地域を中心に、国内観光地域のグラフィックや観光情報を大々的に紹介する。ブースでは中国についてより身近に感じてもらおうと、観光情報の紹介の他に、メインステージで海南省歌舞団による民族舞踊のステージや、ブース内のミニシアターで1日3回、中国伝統芸能・芸術の披露を行い、本場ならではのパフォーマンスを感じることが出来る。他にも中国文化クイズや、パンダキャラクター、少数民族の記念撮影などを多く用意し、観光を通じて相手国文化への理解促進をPRする。



海南島歌舞団

変面

好奇心を刺激する観光を

中国観光局 張 西龍
駐日本代表団首席代表



この度のツーリズムEXPOジャパン2014の開催にあたり、中国観光局は国内12の省や市を代表し、市から約50人の代表団を編成し、出展します。このツーリズムEXPOジャパンを通じて、日本の皆さまに今年世界遺産に登録された悠久のシルクロード、並々たる大運河や、人気コースの天空の青蔵鉄道、迫力の長江三峡下りなどの他、レジャーリゾートで人気の三亜や福建省のアモイ、近年人気が高まっている現代アートや、伝統的山水書画など中国美術に触れられる西安や南京、癒しの桂林、少数民族文化が色濃く雲南や貴州、新疆ウイグル自治区など、皆さまの好奇心を刺激する観光コースを多く用意しています。

また、最近シティツーリズムとして日本の皆さまにもなじみ深い上海、大連、青島などの大都市は、観光インフラの整備を一段と推し進めると共に、ビジネスやMICE市場に対応するための大型コンベンションセンターや市内の交通、標識などの周辺環境も整備されており、その現状、活用法についても広く訴求していきます。

中国ブースでは、これら日々進化する中国の観光の現状と魅力を皆さまにご紹介し、さらなる中国観光の質と安全、中日観光交流の活性化を促進するためのPRを行います。

27日のメインステージでは海南島歌舞団による鮮やかな民族舞踊も披露され、また27、28日にはブース内ミニシアターで変面などの中国伝統芸能、篆刻・書画の芸術、太極拳のパフォーマンスなどが行われます。そのほかにも中国文化クイズや、パンダキャラクター、民族衣装などの記念撮影など、中国文化を身近に感じながらお楽しみいただけるプログラムを用意しておりますので、ぜひ皆さまの好奇心を刺激する観光コースを多く用意しています。

また、最近シティツーリズムとして日本の皆さまにもなじみ深い上海、大連、青島などの大都市は、観光インフラの整備を一段と推し進めると共に、ビジネスやMICE市場に対応するための大型コンベンションセンターや市内の交通、標識などの周辺環境も整備されており、その現状、活用法についても広く訴求していきます。

山東省

黄海と渤海に囲まれる山東省は昔から避暑・避寒地として利用されており、海と山々の織りなす景色が美しい自然豊かな地域。また、思想家孔子、孟子や「孫子の兵法」の孫子、書聖王羲之、蜀の軍師諸葛孔明の古里でもある。国際的な祭りとして、毎年8月に行われる青島国際ビール祭りと9月には国際孔子祭りや泰山国際祭頂祭などが開催され、国内外から多くの人が集まる。



青島の街並み

夏から金の時代にかけて20の朝が都を置いた河南省は歴史文化都市で、なかでも安陽、洛陽と開封は古代に栄えた経済と文化の遺跡が現存も多く残されている。2009年末に三國時代一魏の曹操の墓が発掘され話題になり、世界遺産龍門石窟や安陽の殷墟、少林寺法苑祥雲の地、登封など、各地に見所が点在する。



函谷関

四川省

中国西南部に位置する四川省の成都は、三國時代の蜀が置かれた場所である。また、漢代の都であり、四川の中心地。またパンダ繁育研究基地も置かれ、かわいらしいパンダが数多く生息するパンダの故郷といわれる。また、麻辣料理で知られる麻辣豆腐や火鍋などの四川料理、変面を代表とする川劇など、日本人が中国を堪能させるキーワードが四川を代表する特色となっている。



ジャイアントパンダ

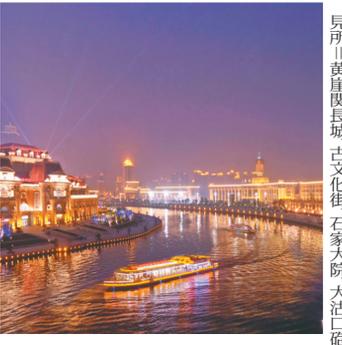
独特のカルスト地形が広く形成されている同自治体では、山水の美しさが有名で、またチワン族を始めとする多くの少数民族が暮らす地域として伝統文化が数多くある。河池市は雄大な自然が織りなす南丹県六寨鎮などのスポットや、長寿の村として話題を呼んでいる「巴馬村」など、近年人気を集める観光地も。多民族が共存しているため、地方料理や軽食も種類が豊富。煮物と蒸し物が中心で、里芋とバラ肉の料理、ぎんなんとアヒルの煮込みなどが美味。竹筒ごはん、桂林リフンは伝統的な軽食だ。



羅城天門風景区

天津市

北京から高速鉄道を使って30分、天津市は太平洋の西岸、渤海湾に臨む重要な国際貿易都市。清時代の街並みを再現した古文化街や旧租界西洋建築群など、レトロ口モダン、中国と西洋が交錯する独特な街並みを築きあげた。2013年6月に地下鉄が全線開通し、市内の移動がさらに便利になった。市内中心を流れる河を運航する遊覧船は夜がお薦め。河の両端に広がるまはゆるい夜景を鑑賞できる。



海河

陝西省

かつて約2千年にわたり、秦、漢、隋、唐などの歴代王朝がここに陝西省長安(現在の西郊)に都を置き歴史を築いてきた中国を代表する歴史文化都市。秦の始皇帝や司馬遷、楊貴妃など名高い歴史人物の足跡も多く、古代ロマンが息づいている。西安の他にも咸陽、延安、榆林、韓城、漢中など代表的な歴史文化の名城が多く、またシルクロードの起点としても有名な。



大雁塔

青海省

青蔵高原の東北部に位置し、古くシルクロードの南ルートとして発展してきた。青海省には漢族、チベット族、回族などの多民族が多く生活をし、彼らの民族風情や中国最大の塩湖である青海湖など壮大な自然景観を味わえる。2006年にはチベットのラサレと続く天宮列車青蔵鉄道が開通し、始発点であるゴルムド駅には国内外から多くの観光客や巡礼者が集まる。



門源 菜の花の海

桂林市

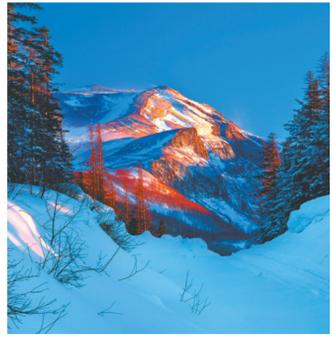
桂林は広西チワン族自治区の北東部に位置する周囲を山々に囲まれた都市。独特のカルスト地形が広く形成されており、特に桂林の山水の美しさは天下に広く知られている。桂林観光の定番・漓江下りでは山水の風情ある景色が目の前に広がり、シラスには多くの観光客でにぎわう。市内には53カ所の国宝級の主要文化財があり、特に2千以上の詩文や書画が壁に刻まれた桂林碑林など、自然景観以外にも多くの見所が点在する。



山水風景

吉林省

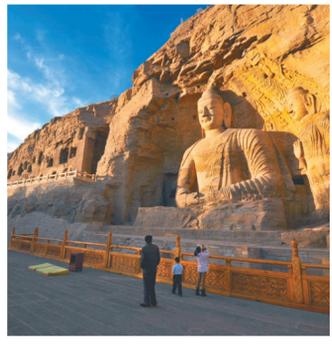
吉林は山や川と湖、広い平野が密集しており、長白山に代表される美しい自然景観を有する都市。冬に見られる霧氷は桂林の風景、雲南省の石林と揚子江の三峡と並び中国4大自然奇観に挙げられている。また歴史遺産も多く、高句麗王城王陵古墳や朝鮮族文化なども残る地域。冬の時期が長く、雪のコンディションも良いため、ウィンタースポーツ観光が特に盛んだ。



長白山

山西省

山西省は山々の織りなす豊かな自然景観と、平遙古城や大同の雲崗石窟、仏教の聖地五台山など、悠久の歴史遺産が数多く残る都市。日本でも人気のある刀削麺発祥の地でもあり、現地ではパエリアに似た「刀削麺」が楽しめる。中国史の伝説時代、堯、舜、禹の三皇帝が都を置いたといわれる歴史のスタート地点。春秋戦国時代に晋の領地に属したため、別称が「晋」となっている。



雲崗石窟

上海市

中国経済の中心、上海は世界中から多くの観光客、ビジネスメンが訪れる国際都市。超高層ビルが立ち並ぶ浦東地区やオールド上海を感じさせる豫園、そして外灘の夜景など、新旧の魅力が詰まっています。秋には国際芸術祭や観光祭も行われ、年間一番盛り上がる季節。小籠包やこれからのシーズンの上海蟹を本場上海でぜひ味わいたい。



外灘の夜景

貴州省

貴州省は中国の西南、雲貴高原の東北部に位置し、少数民族が全省人口の4分の1を占め、中国最後の秘境と呼ばれている。伝統的な文化を継承しながら暮らす彼らの暮らしは素朴で温かみがあり、来客がある時には茅台酒などの酒や歌、踊りで盛大にもてなす。溶岩地形が発達したことによってできた山、川、滝、鍾乳洞から織り成されるカルスト地形や丹霞、黄果树滝などの雄大な自然景観が少数民族風情と共に貴州省の魅力。道路などのインフラも整備が進み、行きやすくなっている。



少数民族

上海でCITM(中国国際旅行博覧会)

11月14~16日

今年のCITM中国国際旅行博覧会が11月14日(金)から16日(日)まで、上海新国際博覧センターで開催される。CITMは毎年国内外から2千人以上のセラー、千人以上のバイヤーが参加する大型旅行博覧会で、会期中は世界以上の国から参加者が集結する。14日に開幕を迎え、3日間わたってビジネス商談や交易会、特色あるブース出展による観光情報の紹介、発信が行われる。

上海市のMICE(ミーティング、インセンティブ、コンベンション、エキシビション)イベント施設は非常に豊富。10以上の展示施設、二つの大型コンベンションセンター、100を超える高級ホテルがある。

年間を通じて、国際レベルの展示会などが開催されており、本年秋以降も中国国際医療設備設計と技術展、上海紡績服飾展、2014アジア電子展、中国国際半導体博覧会などが目白押しだ。

また市内、周辺都市にはさまざまな客層の好みに合った観光スポットが数多く点在。高速鉄道の発達に伴って、蘇州や杭州などの近郊都市へのアクセスも30分から1時間ほどとなった。これら上海の便利さや選択の多さが、MICE前後のフレキシブルな満足の高さにもつながっている。

中国は2013年に世界最大の海外旅行市場となり、4年には約1億2千万人の海外旅行者を送出する予測がある他、現在世界3位の観光客受け入れ国となっている。

CITMの詳細 出展希望は公式HPからアクセスしてください。<http://www.citm.com.cn>



上海新国際博覧センター



日々進化する浦東新区